

第2節

障害者の状況(基本的統計より)

1. 全体状況、年齢階層、発生年齢・原因

(1) 障害者の全体的状況

ア 3区分の概数

ここでは、身体障害、知的障害、精神障害の3区分による厚生労働省の調査から基本的な統計数値を掲載する。

身体障害、知的障害、精神障害の3区分で障害者数の概数を見ると、身体障害者366

万3千人、知的障害者54万7千人、精神障害者323万3千人となっている。

これを人口千人当たりの人数で見ると、身体障害者29人、知的障害者は4人、精神障害者は25人となる。複数の障害を併せ持つ者もいるため、単純な合計数にはならないものの、およそ国民の6%が何らかの障害を有していることになる。

なお、精神障害者については、身体障害者や知的障害者のような実態調査が行われていないため、医療機関を利用した精神疾患患者数を精神障害者数としていることから、一過性の精神疾患のために日常生活や社会生活上の相当な制限を継続的には有しない者も含まれている可能性がある。

■図表1-6 障害者数(推計)

		総数	在宅者	施設入所者
身体障害児・者	18歳未満	9.8万人	9.3万人	0.5万人
	18歳以上	356.4万人	348.3万人	8.1万人
	合計	366.3万人 (29人)	357.6万人 (28人)	8.7万人 (1人)
知的障害児・者	18歳未満	12.5万人	11.7万人	0.8万人
	18歳以上	41.0万人	29.0万人	12.0万人
	年齢不詳	1.2万人	1.2万人	0.0万人
	合計	54.7万人 (4人)	41.9万人 (3人)	12.8万人 (1人)
		総数	外来患者	入院患者
精神障害者	20歳未満	17.8万人	17.4万人	0.4万人
	20歳以上	305.4万人	272.5万人	32.9万人
	年齢不詳	0.6万人	0.5万人	0.1万人
	合計	323.3万人 (25人)	290.0万人 (23人)	33.3万人 (3人)

注1：()内数字は、総人口1,000人あたりの人数(平成17年国勢調査人口による)。

注2：精神障害者の数は、ICD10(国際疾病分類第10版)の「V精神及び行動の障害」から精神遅滞を除いた数に、てんかんとアルツハイマーの数を加えた患者数に対応している。

注3：身体障害児・者の施設入所者数には、高齢者関係施設入所者は含まれていない。

注4：四捨五入で人数を出しているため、合計が一致しない場合がある。

資料：

「身体障害者」

在宅者：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成18年)

施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」(平成18年)等

「知的障害者」

在宅者：厚生労働省「知的障害児(者)基礎調査」(平成17年)

施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」(平成17年)

「精神障害者」

外来患者：厚生労働省「患者調査」(平成20年)より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

入院患者：厚生労働省「患者調査」(平成20年)より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成